

真宗総合研究所

◇「真宗学事研究」研究会

十月十八日(木)

木場明志嘱託研究員

「学事研究と門末教化」

十一月二十二日(木)

大桑斉研究員、経隆優嘱託研究員

「『慧空年譜』について」

◇「海外仏教研究」研究会

十月二十五日(木)

University of California at Davis 教授

Dr. Whalen Lai

「像法決疑經について」

十一月二十一日(水)

大阪大学フルブライト交換教授

Dr. Carl BECKER

「浄土教における臨終体験」

◇「一般研究」公開講演会

(渡辺教授を代表とする研究班主催)

十一月二十九日(木)

本学名誉教授 横超慧日氏

「法華經の思想」

◇研究所委員会

十月十二日(金)

議題

一、昭和六十年年度「一般研究」の募集について

一、研究所報 No. 11 の発行について

十一月二十日(火)

議題

一、昭和六十年年度「一般研究」選考の件

真宗学会

◇真宗学会研究例会

九月十一日午後四時一〇分

於 第一研究室第一分室

見仏性・不見仏性

特別研修員 三明 智彰

観經三心の次第について

博士三回生 畠山 正信

◇真宗学会研究例会

十月九日午後四時一〇分

於 第一研究室第一分室

『教行信証』における附嘱の問題

特別研修員 安藤 文雄

念仏者の現実態 博士三回生 小島 久佳

◇真宗学会大会

十月二十四日午後二時半

於 尋源講堂

信仰的主体の形成 寺川 俊昭教授

キリスト教における二重終末論

武藤 一雄先生

◇真宗学会研究例会

十一月六日午後四時一〇分

於 第一研究室第一分室

「悲歎述懷文」について

特別研修員 井上 円

浄土の大菩提心 博士三回生 一楽 真

◇真宗学修士論文中間発表会

十一月十三日午後四時一〇分

於 三一〇三教室

信心仏性 広瀬ゼミ 江林 智静

本願の信 寺川ゼミ 武田 敏弘

◇『親鸞教学四十四号』を発刊・配布しました。

仏教学会

◇學術懇談会

九月十八日(火) 於 尋源講堂

〈講題・講師〉

“Scepticism and Mysticism in the

context of Indian Philosophy”

B. K. Matlal (オックスフォード大学教授)

◇仏教学会例会

十一月十三日(火)

於 尋源講堂

天台智顓における菩提心について

博士課程三回生 山野 俊郎

ツォンカバの唯識説について

専任講師 小谷信千代

引き続き懇談会が第一研究室分室において行われ、活発に意見の交換がなされた。

西洋哲学会 倫理学会

◇一夜研修会

十月二十七日～二十八日

於 北山山荘

講師＝須藤訓任専任講師

講題＝自己とは何か

西洋哲学及び倫理学の三、四回生、大学院生に特別研修員の二名を加えた十数名が、須藤先生を囲んで熱心に討論できた大変有意義な集いであった。

社会学会

◇社会学会ワークショップ

九月二十七日～二十九日

於 淡路島

参加教員＝高橋教授・志水助教・千葉講師

参加学生＝十五名

宿泊地付近での聞き取り調査を行ない、その調査結果に基づき討論を行なった。また、コンパ等を通じて、親睦を深めることもでき、有意義な研修旅行であった。

国史学会

◇昭和五十九年度研究旅行

(鳥取方面二泊三日)

九月二十七日(木)

午前九時京都駅八条口集合。新幹線・伯備線を乗継ぎ米子へ。以後貸切バス利用。

米子駅——福市遺跡——大山大神山神社・大山寺——鏡ヶ成国民休暇村(泊)

九月二十八日(金)

宿——桜山大日寺——伯耆国分寺跡・国庁裏神社——打吹山長谷寺——定光寺——不入岡石仏——九品山大伝寺——伯耆一ノ宮倭文神社——三朝温泉(泊)

九月二十九日(土)

宿——三徳山仏寺——鳥取砂丘——岡益石堂。そのまま貸切バスにて戸倉峠を越え、中国・名神高速道を使って京都駅着午後七時。解散。

引率＝堅田修教授、大桑斉教授、豊島修専

任講師、木場昭志助手。

参加学生＝院生七名、学部生三十二名。

日本仏教史学会

◇四回生研究旅行

九月二十六日(水)～二十七日(木)

姫路・書写山方面

二十六日＝書写山円教寺拝観、塩ヶ温泉泊。二十七日＝姫路城見学、解散。

参加＝北西教授、藤原特別研修員、学生九名。

短期国文科

◇秋季史蹟見学ならびに補導懇談会

*一回生ABCクラス。十月十九日(金)

嵯峨野方面。石橋助教、後小路助手。

学生五十六名。

*一回生CDクラス。十月二十三日(火)。

宇治・黄檗方面へ。片岡教授、沙加戸助手。学生五十九名。

*二回生ABCクラス。十一月二十日(火)。

室生寺方面へ。渡辺教授、後小路助手。学生二十名。

*二回生CDクラス。十一月十二日(月)。

飛鳥方面へ。喜多川専任講師、沙加戸助手。学生三十九名。